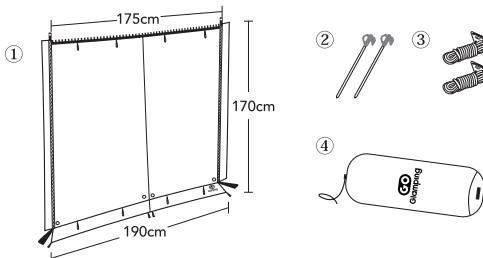


セット内容



製品仕様

G・G PUP 2.0 用TC前幕

品番: NMNTI-353 組立サイズ: (約) 175*170cm
収納サイズ: (約) 44*13*13cm 総重量: (約) 1.3kg

製品材質

TC前幕: ポリコットン (ポリエステル系65%+コットン系35%)
ロープ: ポリプロピレン

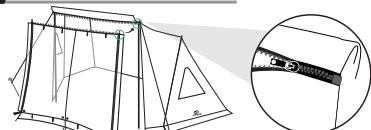
セット内容

①TC前幕×1 ③自在金具付きロープ×2
②夜光ベグ×2 ④キャリーバッグ×1

【原産国】 中国

設営方法

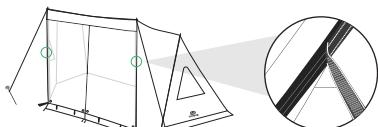
STEP 01 先端のジッパーに取り付ける



- ① TC前幕の一端にある取り外し可能なジッパー（スライダー）をパップテント2.0版の先端スカートの内側ジッパーに取り付けます。

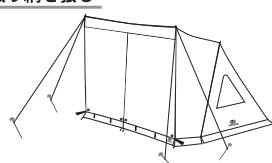
△ 注意 ロゴのある面がフロント面となります。

STEP 02両側のマジックテープに貼り付ける



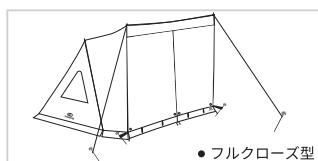
- ② TC前幕の両側のマジックテープ（メス）をパップテント2.0版の両側のサイドウォールのマジックテープ（オス）に貼り付けます。

STEP 03 張り網を張る



- ③ テント本体の陥没を防ぐために、サブポールにガイロープを一本ずつ掛け、ベグで固定します。
自在金具ロープのテンションを調整して、前幕の設営は完成です。

設営バリエーション



• フルクローズ型



• フルフロントフラップ型



• 観音開き型



• ハーフフロントフラップ型



• ハーフオープン型



• フルオープン型

*アレンジ用のポールとベグとガイロープセットは付属しておりません、別途用意する必要があります。



使用上・保管上の注意事項

本書は製品を安全に使用するために禁止事項を記載しております。

使用前に必ずお読みください。また必ず製品と共に保管していくください。

⚠ 警告

- ご使用になる前に、必ず本製品の劣化や表面にキズや亀裂がないか確認してください。異常のある場合は危険ですので絶対に使用しないでください。
- テント内で火気は絶対に使用しないでください。
- 台風・暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- ご使用中は天候の変化に注意し、突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は、使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ退避をしてください。
- 幼児の手の届かない安全な場所に保管してください。
- 目的以外では使用しないでください。
- 人の迷惑になる場所や、危険な場所で使用しないでください。

⚠ 注意

- 快適なキャンプのために、出発前に一度組み立てて、製品の破損や付属品の不足がないこと及び手順を予めに確認してから使用してください。
 - 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立てて使用してください。
 - (特にお子様がいる場合は、フレームがぶつかったりしないよう充分にご注意ください。)
 - 設営及び撤収の際は手袋を着用し、安全に作業をしてください。
 - 取扱説明書に従いすべての張網を確実に固定した状態でご使用ください。
 - テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は、結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
 - 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず、湿度、日光、温度などの環境要因により徐々劣化します。
 - 山岳用、常設、日常使用の頻度の高い使用は避けてください。
- 直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は、退色や生地の劣化が進み短期間で製品寿命となることがあります。
- 砂地や河原など付属のベグで固定が不十分な場合は、別途設営場合に合わせた市販のベグをご用意ください。
 - 天災等の不可抗力や、お客様による製品の改造、誤った使用方法、不当な修理、改造による事故や故障、破損等は保証しかねます。
 - レンタル業・中古販売における他人への貸し出し・販売・譲渡によって発生した、損害・事故・各部品の損傷・劣化におきましては一切責任をおいかねますので予めご了承ください。

メンテナンス、保管上の注意

- テント全体に撥水加工が施していますので、必ず洗濯機で洗わないでください。一切洗浄剤も使用しないでください。
 - 使用後は濡れタオルで汚れをよく落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
- 濡れたままや汚れたままに収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り可能性があります。
- 高温多湿の場所に保管すると生地の劣化を早めます。風通しの良い直射日光が当たらない場所に保管してください。

TC生地に關しまして

- TC生地は綿とポリエステルの混紡で(織りムラ/織りキズ)がどうしても出てしまいます。
TC独特の風合いのため、多少の染色むら、織りムラ、織りキズはご容赦ください。
織りムラが原因で水が漏れることはほとんどございませんので予めご了承ください。
- 通常の生地よりはポリコットンで火の粉による穴が空きにくい素材ですが、完全に燃えない素材ではありませんのでテント内での焚き火は推奨しません。火の粉の飛び散りにはご注意ください。
- TC生地は防水コートされたポリエステル生地などとは異なり、水分を吸収した際に綿素材が膨張し、雨漏りを防ぐ構造です。
そのため、張り方が弱いときや、長時間の雨に濡れた際には内部に雨漏りする可能性があります。
- フロントフラップを上げた状態で雨が降った場合は、雨がフロントフラップの上に溜まり、テントの破損や雨漏りの可能性がございます。
必ず水が流れようフロントフラップを張り上げてるポールを片方下げたり、フロントフラップ中央から張網を張って水を流すなど対応してください。
- 通常雨の日は使用しないことをお勧めします。突発的な天候の場合は、防水タープと一緒に使用することをお勧めします。

テント内にストーブを設置する時の注意点

- ストーブをテントの中に入れる場合は、煙突口の傾斜面の配置位置と角度にご注意ください。テント素材に近づきすぎないでください。
- 薪ストーブや石油ストーブからテントの距離は必ずあけてください。テント素材と直接接触しないでください。周辺には燃えやすいものは置かないでください。
- テントと煙突の接触部分を十分に断熱してください、煙突ガード等の断熱ものを加えることをお勧めします。
- 耐熱シートを煙突口直接接觸しないでください。耐熱シートを煙突ガードなどより大きい穴まで自行裁断してください。
(耐熱シートは融点に達すると正常に溶け落ちる、消耗品だから、取替える可能です。)
- 煙突口のカバーをちゃんと巻いて留め、風で落ちるにご注意ください。煙突が倒れないように固定してください。
- ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります、必ず定期的に換気をする、ベンチレーターを開けた状態で使用してください。
- お客様による誤った使用方法によって発生した、損害・事故・各部品の損傷・劣化におきましては一切責任をおいかねますので予めご了承ください。
※ストーブを利用する際は、火災や一酸化炭素中毒に十分留意してください。

発売元：GO Glamping

お問い合わせメール: goglamping@hotmail.com

GO GlampingGO goglampingclub goglamping-jp

GO Glampingの製品は「安心保証」が付きますので、製品の初期不良、故障などがある場合は、弊社のお問い合わせメールまでお気軽にお相談ください。全力でアフターサポートいたします。